

野洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

1. はじめに

地方創生事業を進めるにあたり、人口減少に歯止めをかけ、本市の特色や地域資源を活かした住みよい環境を確保し、未来に向けて活力あるまちを継続していくことを目的とし策定した「野洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、第1期野洲市総合戦略）の計画期間が令和2年度で終了したため、本計画の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）をもとに、実施した施策について効果検証を行いましたので、報告します。

2. 第1期野洲市総合戦略の達成状況

◆達成度の計算式

$$\text{達成度} = (\text{実績} / \text{目標}) \times 100$$

達成度に基づき、下表のとおり3段階の評価を行います。

評価ランク	評価基準
A	目標達成に向け、目標を上回る成果である。（達成度 100 以上）
B	目標達成に向け、概ね予定通り進捗している。（達成度 80 以上 100 未満）
C	目標達成に向け、改善や手段などを検討する必要がある。（達成度が 80 未満）

※評価に「*」が付いているものについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、適正な評価が困難となったものです。

基本目標 1 野洲らしい産業振興により、「野洲で働きたい」と思えるまちづくりを展開します

数値目標		実績	達成度	評価
昼夜間人口比率	99.5%	99.2% (H27)	99.7	B

① 商工業の振興

重要業績評価指標（KPI）		実績	達成度	評価
女性のための創業支援事業 新規企業に関する相談件数 ※実績値は創業塾参加者数	10 件	11 件	110.0	A

大規模先端事業所等窓口相談件数	5回	2回	40.0	C
-----------------	----	----	------	---

② 農林漁業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
販路拡大事業参加農家の売上伸び率	1.01	1.72 (R1)	170.3	A*
ひまわり迷路来場者数	3,000人	15,970人 (R1)	532.3	A*
集落営農の法人化数	7法人	4法人	57.1	C
学校給食センターにおける市内野菜使用割合	32%	16.6%	51.9	C

③ 地域資源を生かした観光の振興

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
オクトーバーフェスト来場者数	20,000人	約23,000人 (R1)	115.0	A*
夏まつり来場者数	11,000人	約45,000人 (R1)	409.1	A*
市内への観光客数	1,500,000人	1,550,100人 (R1)	103.3	A

基本目標2 うるおいとにぎわいのある快適な都市環境の確保により、「野洲に住みたい・行きたい」と思えるまちづくりを展開します

数値目標		実績	達成度	評価
転入者数／転出者数	100%	106.3%	106.3	A

① 均衡ある土地利用の推進

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
新規市街化区域の編入	1~2地域	7地域	350.0	A
野洲駅周辺地区の整備進捗率	100%	100%	100.0	A
篠原駅周辺地区の整備進捗率	100%	100%	100.0	A

② 公共交通の利便性の向上

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
バス路線密度	維持 (3.56)	3.61	101.4	A

③ 快適な居住環境の確保

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
住宅関連助成制度の活用件数	5%増 (8件)	5件	62.5	C

基本目標3 結婚・出産への安心感のある社会を実現し、「野洲で結婚したい・子育てしたい」と思えるまちづくりを展開します

数値目標		実績	達成度	評価
出生数	560人/年	427人/年	76.3	C

① 子育て・子育て支援の充実

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
母子手帳発行件数	年0.5%増 (546件)	429件	78.6	C
子育て家庭のための健康づくり事業参加人数	110人	195人 (R1)	177.3	A
こども園の整備	4園	4園	100.0	A
子育て短期支援事業制度の利用者数	制度周知による 利用機会の確保 を図る (1件以上)	10件	1000.0	A

② 青少年の健全育成

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
地域子ども教室への1回以上の参加割合	80%	56% (R1)	70.0	C*

③ 学校教育の充実

重要業績評価指標 (KPI)		実績	達成度	評価
スクール・ソーシャル・ワーカーによる対応件数	55ケース	117ケース	212.7	A

特別支援教育支援員数の配置人数	維持（22人）	26人	118.2	A
-----------------	---------	-----	-------	---

基本目標4 健康で安らかに生涯を送れる社会を実現し、「野洲で住みたい」と思えるまちづくりを展開します

数値目標		実績	達成度	評価
野洲に住みたい・転出してもいつか戻りたい割合	50%	69.7%	139.4	A

① 健康づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）		実績	達成度	評価
地域医療のあり方の継続的な検討	1回以上／年	1回	100.0	A

② 高齢者福祉の充実

重要業績評価指標（KPI）		実績	達成度	評価
高齢者支え合い拠点・終活仕組みづくりに関する研修会・セミナー開催回数	12回	48回 (H28)	400.0	A
高齢者支え合い拠点・終活仕組みづくりに関するマニュアル作成	2事例	2事例	100.0	A
認知症サポーター育成講座受講者数	400名／年	650名／年 (R1)	162.5	A*

3. 第1期野洲市総合戦略の効果検証

KPIの達成状況としては、全25項目のうち、評価Aは19項目であり、全体の約8割が達成しています。

数値目標については、まず基本目標1については達成の見込みがあり、また基本目標2及び基本目標4については目標を達成しており、「野洲で働きたい」「野洲に住みたい・行きたい」「野洲で住みたい」と思えるまちづくりとして有効な施策を実施できたと考えられます。

一方、基本目標3の、子育て支援の充実等については目標を達成していませんが、各施策のKPIについては概ね達成しているため、目標達成のための手段を改善する必要があります。

総評としては、数値目標全4項目のうち3項目が概ね達成していることから、市総合戦略が目

指す「野洲で安心・楽しく生涯が送れる“まち・ひと・しごと”づくり」に向けた取組について、一定の効果があつたと考えられます。

第2期野洲市総合戦略においては、引き続き人口減少克服及び地方創生に向け、これまでの取組を継続及び強化するとともに、多様化する子育て環境へのニーズに対応した取組など「野洲で子育てしたい」と思えるまちづくりを一層推進します。

また、産業・観光・歴史文化等の各面から、「野洲に住みたい」だけでなく「野洲に行きたい・関わりたい」と思えるようなまちづくりを推進し、野洲市に関わりを持つ関係人口の増加を図ります。